



矢野中通信

7月号 No.2

明日から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。この4ヶ月間、本当によく頑張りました。地域でも「あいさつをよくしてくれる」「交通マナーがよくなった」という声を聞くことが増え、喜んでいます。

さて、22日（火）、23日（水）は三者懇談会があります。達成できた事と達成できなかった事を把握し、しっかりと振り返る時間を持ち、これからの生活に活かしていく機会にさせていただきたいと思います。

そして、この夏休みは、ご家庭でも「規則正しい生活をさせること」、「三度の食事の準備」、「子どもと一緒にの時間をもつこと」など、保護者の皆様にもいろいろと工夫をしていただければと思います。

人生の幸福の5つの条件

さて、スイスの心理学者であるカール・ユングという人が「人生の幸福の五つの条件」ということを述べています。そこには、次のように書かれていますので、ご紹介します。

- | | |
|----------------------------|----------------------------------|
| 1 <u>健康であること。</u> | 4 <u>人と仲良くしていく能力があること。</u> |
| 2 <u>ほどよい程度のお金があること。</u> | 5 <u>朝起きたとき、やらねばならない仕事があること。</u> |
| 3 <u>美しいことを感じる能力があること。</u> | |

一番目の「健康」はいうまでもありません。健康であることは何事にも代え難いものです。特に、私自身も年齢を重ねるたびに、健康であることのありがたさを身にしみて感じています。

二番目の「ほどよい程度のお金があること」の「ほどよい」とはどの程度か、個人によって違いがあると思いますが、お金持ちが必ずしも幸福であるとは限りません。あり余る財産に振り回されることなく、自分の力量で活用し、自分のペースを崩さず生活できる程度と考えておけばいいと思います。

三番目の「美しいことを感じる能力」は本当に大切だと思います。ものを見たり聞いたりして美しさを感じるということには、優しさとか豊かさを感じるということも含まれていると思います。例えば、美しい花を見て「きれいだなあ、ここに花があると心が豊かになる」と素直に感動できる心をもてることが幸福につながるものであると思います。

四番目の「人と仲良くしていく能力」ですが、これも必須の条件です。私たちが仲間を大切に考えたり、周囲の人と協調してより良く生活するという事です。人は一人では生活できません。周りの人との関わりをどのように築いていくかが大きな課題になると思います。



五番目の「朝起きた時、やらねばならない仕事がある」こと。これは素晴らしいことだと思います。私たちは勉強や仕事に追われて苦しい、辛いとグチることもありますが、何かに取り組むことがあるありがたさをじっくり味わう必要があります。

子どもの幸福を願わない保護者はいませんが、子どもたちの幸福を願わない教師もいません。そのためにも、まず保護者自身・教師自身が幸福になり、子どもたちに幸福のお手本を示せるようにならねばと思っています。